



Japan Municipal Hospital
Association · Partners

かけはし

2019年

秋

Vol.10

全国自治体病院協議会・賛助会広報誌
<http://www.jmha-p.net/>



撮影:賛助会 第3ブロック 平野武信氏

自治体病院とともに52年

理念

公益社団法人全国自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

基本方針

- ①協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ②会員を対象とする研修会等を実施します
- ③その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

巻頭

公益社団法人全国自治体病院協議会
竹中 賢治 副会長インタビュー

新入会社紹介

●新たに加盟した9社の紹介

賛助会活動報告／賛助会会員名簿

竹中 賢治 副会長 インタビュー

パートナーとしての ニーズを探る

聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会

伊藤 誠 会長

河尻浩司 副会長

渡辺孝浩 広報委員長

患者マインドに対する教育

賛助会

副会長に就任されて1年経ちましたが、常務理事の時と比べて変化したことは。

竹中副会長

特に変わったことはないのですが、部会の仕事が増えました。担当は地域医療、看護関連、救急医療、災害BCP、調査統計、難病の6分野を担当しております。特に看護関連は病院機能の中で大きなウエイトを占めております。また医療業界の働き方改革においては、「タスクシフト」を含めて構造的な改革が起こりつつあります。現在の病院経営は費用をいかに縮減するかが最大のポイントです。機能的にどうするか、知恵をどのように出すかが重要だと考えております。

賛助会

マンパワーだけにとらわれずに今後はICTとか、AIを上手く取り入れないといけなんでしょうね。

竹中副会長

そうですね。医療業界もICTとかAIといった技術を模索しないといけませんね。20年前と比べるとテクノロジーは格段に進歩しておりますし、医療分野において特に外科の技術は本当に進歩しています。それと同時に情報量は昔と比べたらとんでもない量の情報を処理しなければならなくなっているのが現状です。

賛助会

情報処理は機械が行うのですが、それを使うのは人間ですので、機械と人間がどう上手に付き合っていくかを考えないといけませんね。

竹中副会長

生身の人間と関わる時に、サイエンスとか、生物学というレベルだけで接していいのか、そこには人間としてオブラートに包んだ領域があって、機械と人間との間に存在する部分がないと医療は成り立たないと思うんです。医療には患者マインドといいますが、人と人との接し方といいますが、どんなに機械の技術が進歩したとしても人間に代わるものはないんです。テクノロジーが進歩する一方、今はそういった患者マインドに対する教育が遅れていると思います。

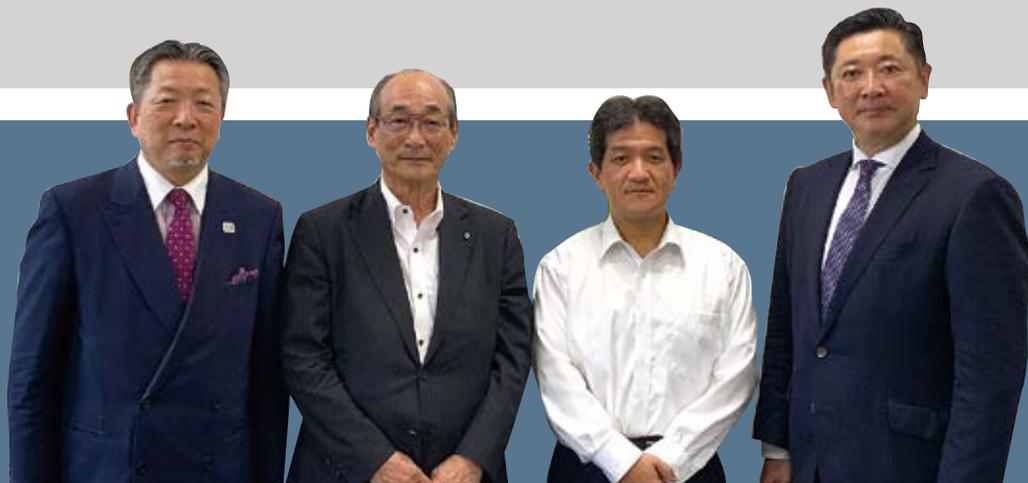
公立病院と民間病院の棲み分け

賛助会

ところで、竹中副会長は今年の3月までは福岡市立病院機構の理事長、4月から天草市の病院事業管理者としてご活躍されておりますが新しい環境はどうですか。

竹中副会長

天草市は2市8町が市町村合併によって平成18年3月に誕生いたしました。2市8町がそれぞれ病院を持っていたのですが、現在は天草市に4つの病院と3つの診療所を設置しています。今はその中の1つ河浦病院内にある病院事業部というところにいます。点在する7施設がどのように円滑に組織をつくっていくかが課題となっており、天草市という島しょ地域の医療体制をどうするかは、地域医療構想の中で重要な位置づけです。病院は地域住民の財産ですので、住んでいる地域によって疎外感を与えてはいけませんし、地域特性や住民のために幸福感を伴う医療提供体制というものはどういうものかを配慮した地域医療構想を検討していきたいと思っています。そして更に重要なのは医師確保問題です。例えば、シニアドクターで一旦アクティブな環境から離れたところまでと考えている方には、是非天草に来ていただきたいと思っています。この地域はお魚も美味しいですしね(笑)。これからの医師不足や医療過疎を解消するためには、ICTといったテクノロジーを駆使した医療提供体制は絶対的に必要になると思いま



す。また、地域医療構想で厚生労働省と医師会の中では、公立病院の基盤を少し整理しようという意向があるようです。企業は商業ベースでの価値観がない部分には手をつけません。しかし、公立病院が利益率の低い政策医療を担うことで、民間病院とは機能的な棲み分けができていたんです。地域医療構想というのは、2025年、2035年に向けての地域での役割を決めて効率の良い医療提供体制をつくるというのが本来の目的だったはず。公が無くなってしまったら維持できるのか…そういった事を今後も主張し続けていきたいと思っています。

賛助会

公立病院は、長い歴史の中で病院の設立から存続にはそれなりの理由があると思いますが…。

竹中副会長

今の考えとして、公立病院は住民の財産だという意識が薄いんじゃないかなという気がします。公立病院には救急医療の補助が出て民間病院には余り出ない。だから、救急医療は公立病院が引くべきだという話がありますが、公立病院が行っている救急医療は、多くの専門医を常時配置しなければならないんです。その医療提供体制を維持するには当然お金がかかる。公立病院の繰入金は全て赤字補填のためだと思っている方もいらっしゃいますけどそれは違うと思います。だから、公立病院は今まで培ってきた専門性の高い医療やへき地医療をこれからも行っていくべきだと思っていますし、民と公でどれだけ機能的な棲み分けができるかを検討し整備を進める事だと考えております。

パートナーとしての賛助会

賛助会

我々賛助会が学会に参加すると、賛助会を知らない方や知っているけど何をやっているかわからないといった方が結構いらっしゃいます。ですので、協議会が開催する研修会等でPRの機会が頂けるとありがたいと思っています。また、共済会と一緒にコラボ会議を行い協議会のために

何かできないかということ色々議論しております。その中で少しずつ賛助会の役割が見えてきた部分があると感じております。

竹中副会長

カスタマー・サティスファクション(顧客満足)という言葉がありますよね。我々にとって顧客というのは、患者さんはもちろんのこと、僕はMy brotherと言っていたんですけど、出入りする業者の皆様も含む全ての方が顧客なんですと皆に話しています。

賛助会

我々賛助会としても顧客という位置づけでありながらパートナーとしてお互いのニーズを探り合って一緒にやっていきたいと思っています。

竹中副会長

お互いのニーズを知り合うことはいいことですね。そういう情報交換は全然悪いことではありませんので。僕にできることは何かいつも思ってますけど、国民の皆様がいい医療を受けられて、更には賛助会の皆様が公正公平にいろんな恩恵に授けられることが出来ればいいと思っています。協議会、賛助会ともお互いがお互いの立場でどうことができるだろうというところを今後も模索していきましょう。

賛助会

そうですね。そういう関係を築いていけば何か道筋が出てくるかなと思います。本日はありがとうございました。



「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は137社(2019年9月1日現在)が加入し協議会会員である自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会やブロック会議への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

4月18日(木)

平成31年度全国自治体病院協議会・賛助会定時総会



場所:剛堂会館(千代田区平河町)
定時総会では、会員総数136社のうち委任状を含め計83社の出席により、第1号議案から第4号議案まで審議され承認されました。

4月18日(木)

平成31年度全国自治体病院協議会・賛助会定時総会后懇親会



場所:ルポール麹町(千代田区平河町)
定時総会終了後懇親会が開催され、全国自治体病院協議会様や自治体病院共済会様からも多数のご参加をいただきました。

8月23日(金)

病院見学会



場所:松戸市立総合医療センター(千葉県)
令和元年度の病院見学会は松戸市立総合医療センターで開催され、賛助会会員企業より22名が参加しました。松戸市立総合医療センターの皆様におかれましては、大勢の参加にもかかわらずご協力いただき、誠にありがとうございました。

9月19日(木)

令和元年度第1回研修会



場所:ホテル麓乃湯(長野県)
出席者は会員及び来賓合わせて62名の参加となりました。研修会1日目は全国自治体病院協議会副会長の望月泉先生をお迎えして、岩手県立中央病院の救急医療戦略をはじめ医師の働き方改革についてご講演いただきました。講演テーマ「地域に必要とされる病院をめざして～地域医療を崩壊させないためには～」

新入会社紹介

第2ブロック

三和シャッター工業株式会社

<https://www.sanwa-ss.co.jp/>

三和シャッター工業は、シャッターの販売・施工やシャッターの修理・シャッターの点検などシャッター、マンションドア、玄関ドアを取り扱うNo.1の総合建材メーカーです。シャッターの修理などお気軽にご相談ください。



株式会社くろがね工作所

<https://www.kurogane-kks.co.jp/>

吊り下げ式引き戸のパイオニアとして【くろがねアキュドユニット】は約30年にわたり耐久性・安全性に高い評価をいただき、数多くの施設で採用いただいております。くろがねは、これまでの知識や経験を元に、アキュドユニットをはじめ、病室用コンソールユニットや家具を含め、より安心で快適な医療施設環境づくりのご提案いたします。



日本空調システム株式会社

<http://www.nikkusystem.co.jp/corporate/index.html>

弊社は、愛知県庁・名古屋市役所など県内主要官公庁施設や県内災害拠点病院、特殊施設等の24時間常駐運転管理と空調衛生電気設備の保守点検を中核事業としております。常駐管理スタッフは全て自社社員にて対応し、建物設備のライフサイクルコストの低減や省エネ・CO2削減に取り組む事業を通して人を育て、地域社会に貢献してまいります。



第3ブロック

株式会社内藤ハウス

<https://www.naitohouse.co.jp/business/>

内藤ハウスは自社のプレハブ技術を核とし、低価格のプレハブ建築、一般建築、自走式立体駐車場などの事業を展開しています。自社工場を持ち、設計から生産、施工までの一貫システムを構築しています。お客様によりよい商品、サービスを豊富な施工実績と確かな技術力でお客様のニーズにお応えします。



戸田建設株式会社

<https://www.toda.co.jp/>

戸田建設は一人ひとりのお客様に最適な技術とソリューションを提供する総合建設会社です。確かな品質のものづくりを通じて安心・安全、快適な社会づくりに貢献しています。



大和リース株式会社

<https://www.daiwalease.co.jp/>

大和リースは多様なニーズにスピーディーに応えるべく、品質・コスト・工期のバランスを追求したシステム建築のメーカーです。



第5ブロック

株式会社 Open Health Initiative

<https://www.openhealth-i.com/>

最新のデータとアナリティクスとテクノロジーを駆使し、予防医療と個別化医療に貢献します。



株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

<https://www.ghc-j.com/>

グローバルヘルスコンサルティングとは?病院経営データや、診療行為・臨床データなどのベンチマーク分析を基に、医療の現場から、「医療の質の向上」と「病院経営カイゼン」をめざす、医療経営コンサルティング会社です。



株式会社リブドゥコーポレーション

<https://www.livedo.jp/>

株式会社リブドゥコーポレーションは「治療(Cure)」と「介護(Care)」の両域において、「生きる力」を応援する会社です。

「治療(Cure)」分野では手術キットおよび各種サービスの提供により、手術室の効率化を支援しております。また、「介護(Care)」分野では、排泄介護のメイン商材である大人用紙おむつを製造販売しております。



公益社団法人全国自治体病院協議会と共に52年
全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

**第1
ブロック** **医療機器部門
(25社)**

協和医科器械(株)
グリーンホスピタルサプライ(株)
コヴィディエンジャパン(株)
コニカミノルタジャパン(株)
サカセ化学工業(株)
サクラ精機(株)
GEヘルスケア・ジャパン(株)
シーメンスヘルスケア(株)
(株)ジェイ・トラスト
シスメックス(株)
(株)島津製作所
(株)タカゾノ
(株)千代田テクノル
テルモ(株)
日機装(株)
ニプロ(株)
日本光電工業(株)
(株)フィリップス・ジャパン
フクダ電子(株)
富士電機(株)
富士フィルムメディカル(株)
(株)ホギメディカル
美和医療電機(株)
村中医療器(株)
(株)理舎

**第2
ブロック** **設備部門
(42社)**

アーバス技研工業(株)
IHI運搬機械(株)
(株)アイホー
アイホン(株)
アクアス(株)
アズビル(株)
アルファグループ(株)
(株)アルメックス
(株)イトーキ
(株)S&Sエンジニアリング
(株)荏原製作所
(株)オカムラ
(株)くろがね工作所
(株)ケアコム
コクヨ(株)
コマニー(株)
斎久工業(株)
三建設備工業(株)
(株)三晃空調
シーホネンス(株)
三和シャッター工業(株)
(株)スローライフジャパン

(株)セントラルユニ
ダイキン工業(株)
ダイダン(株)
高砂熱学工業(株)
田島ルーフィング(株)
東西化学産業(株)
(株)中西製作所
日本空調システム(株)
(株)日本シューター
日本調理機(株)
能美防災(株)
(株)バートナ
パラマウントベッド(株)
不二サッシ(株)
(株)フジマック
フランスベッド(株)
文化シャッター(株)
ホシザキ東京(株)
(株)LIXIL
YKKAP(株)

**第3
ブロック** **設計建築部門
(30社)**

(株)梓設計
(株)石本建築事務所
(株)伊藤喜三郎建築研究所
(株)医療開発研究所
(株)奥村組
鹿島建設(株)
(株)教育施設研究所
(株)楠山設計
(株)久米設計
(株)佐藤総合計画
(株)昭和設計
積水ハウス(株)
(株)大建設
大成建設(株)
大和リース(株)
(株)竹中工務店
(株)田中建築事務所
戸田建設(株)
(株)内藤建築事務所
(株)内藤ハウス
西松建設(株)
(株)日建設計
(株)藤木工務店
(株)フジタ
(株)プラスPM
(株)松田平田設計
三井住友建設(株)
(株)村田相互設計
(株)山田総合設計
(株)横河建築設計事務所

**第4
ブロック** **製薬部門
(8社)**

エーザイ(株)
共創未来ファーマ(株)
武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)
東和薬品(株)
日本ケミファ(株)
Meiji Seika ファルマ(株)
持田製薬(株)

**第5
ブロック** **資材サービス部門
(32社)**

(株)アートネイチャー
(株)INE
(株)アイシーエム
(株)アペックス
(株)アメニティ
(株)エヌジェーシー
(株)エフエスユニマネジメント
(株)MHA
(株)エラン
(株)LSIメディエンス
エンパワーヘルスケア(株)
(株)Open Health Initiative
(株)グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
(株)サンワ
(株)シード・プランニング
(株)ジェイワールドトラベル
(株)じほう
(株)ジャパンピバレッジ東京

セコム医療システム(株)
(株)ソラスト
大日商事(株)
(株)トーカイ
(株)ニチイ学館
(株)日本経営戦略人事コンサルティング
日通旅行(株)
富士産業(株)
ベストワールド(株)
(株)丸井工務社
(株)メディネット
八尾医療PFI(株)
(株)葉栄
(株)リブドゥコーポレーション

会員数 137社 2019年9月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

全国自治体病院協議会・賛助会
<http://www.jmha-p.net/>
QRコードで確認できます



2019年度 三役会社

会長会社
副会長会社(会計)
副会長会社(総務)

(株)伊藤喜三郎建築研究所
(株)エヌジェーシー
美和医療電機(株)